

トイレでの自然な排泄
を推進する「日中おむつせ
ろ」活動に取り組む新潟市
北区の特別養護老人ホーム

13年、利用者に日中はお
アを行い、17年には約90人
した。職員らは「取り組み
で利用者の表情が明るくな

「なぎさの里」が、北区文

化会館で報告会を開いた

写真。寝たきり状態から

立ち上がってトイレを使え

るようになった利用者の例

などを施設職員らが発表

し、排泄ケアの大切さを

訴えた。

「なぎさの里」では20

おむつ外し表情明るく

新潟の特養 取り組み成果を報告

取り組みは全国で広がりつ
つあるが、県内ではまだ浸
透していない。ベッドやい
すから立ち上がる運動訓練
や、水分を積極的に取るケ

り、会話が増えてぼんやり
しなくなった」と説明した。

施設では10月、新たに体
幹や足の力を鍛えるトレ
ニングマシンを導入。半田
浩久施設長は「自然で自主
的な排泄ができる体と生
活のリズムをつくること
が大切。トレーニング方法
も充実させて、利用者に活
力のある生活を送ってもら
えるよう、活動を続けたい
」と話した。

